

部品交換要領書

サニセーフⅡ浴室ドア用 レバーハンドル

HHW26-007
2014年3月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、弊社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

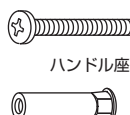
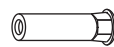
部品を正しく交換していただくために、本書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
同梱の取付ねじを最後までしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、作業用手袋などを着用し作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などを行って作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

レバーハンドル	取付ねじ	交換要領書
 HH-2K-16312 レバーハンドル：1式	 ハンドル座取り付け用：3本  ハンドル座取り付け用ねじ柱：3本	 本書 1枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー
  1本	  1本

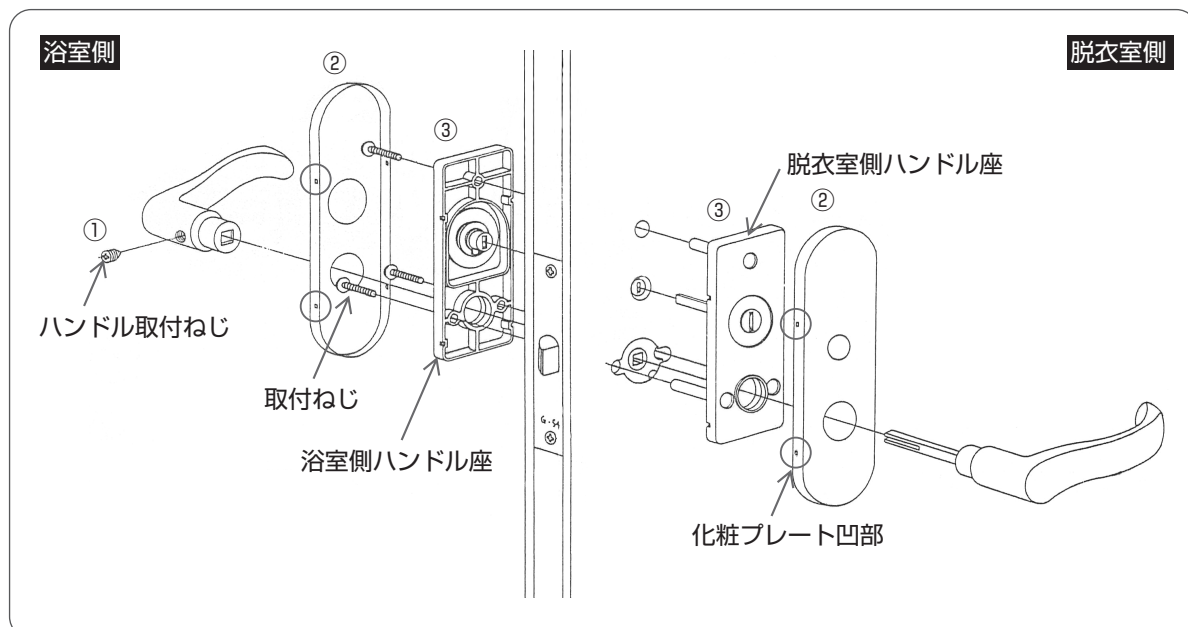
部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 レバーハンドルの取りはずし

- ①浴室側よりプラスドライバーでハンドル取付ねじをはずし、ハンドルをはずす。
- ②両側の化粧プレートの凹部にマイナスドライバーを差し込み、化粧プレートをはずす。
- ③浴室側よりプラスドライバーでハンドル座をとめている取付ねじをはずし、ハンドル座をはずす。



※部品の取り付け方は裏面をご覧ください。

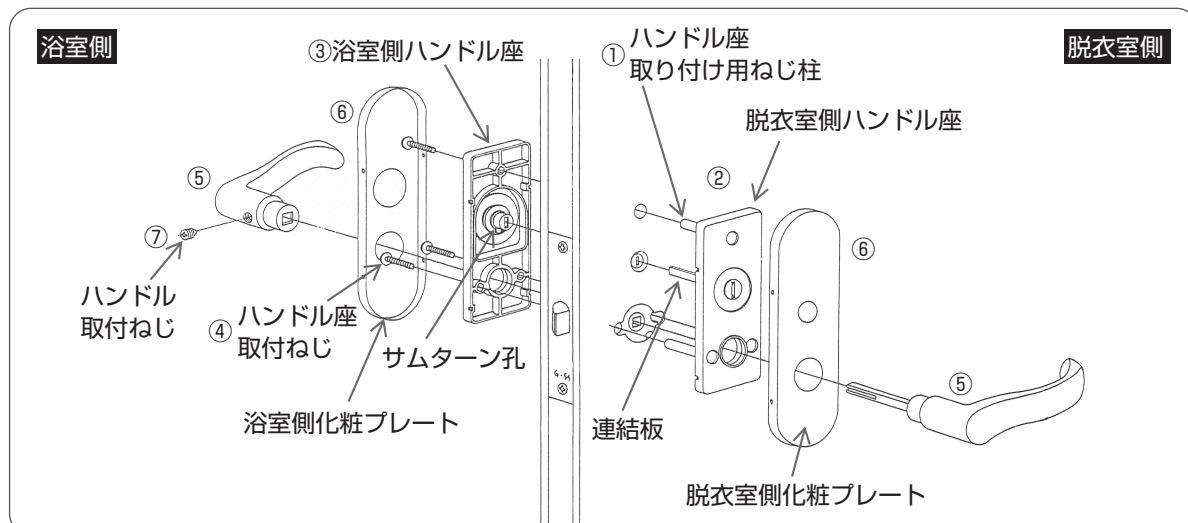
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 レバーハンドルの取り付け

- ①ハンドル座取り付け用ねじ柱を脱衣室側ハンドル座に取り付ける。
- ②脱衣室側ハンドル座(ねじ柱付)をドア切欠穴に差し込む。
- ③浴室側より浴室側ハンドル座を脱衣室側ハンドル座に合わせてセットする。
※脱衣室側ハンドル座の連結板を浴室側ハンドル座のサムターン孔に差し込むようにセットしてください。
- ④プラスドライバーでハンドル座取付ねじを軽く仮止めする。
- ⑤脱衣室側レバーハンドル(角芯付)を錠本体の角孔に差し込み、浴室側より浴室側レバーハンドルをはめ込み、レバーハンドルが正常に作動するか確かめて、プラスドライバーでハンドル座取付ねじをしめる。
- ⑥内部・外部レバーハンドルをはずして、脱衣室側化粧プレートを脱衣室側ハンドル座に、浴室側化粧プレートを浴室側ハンドル座にそれぞれはめ込む。
- ⑦レバーハンドルをふたたび差し込み、プラスドライバーでハンドル取付ねじをしめる。

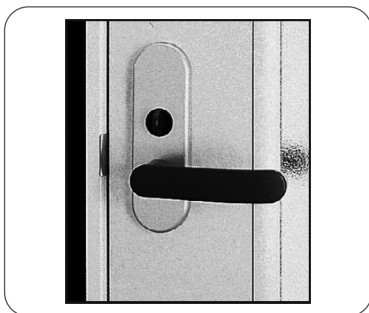


※浴室側と脱衣室側の化粧プレートがずれている場合には、レバーハンドルの垂れ下がりやサムターンツマミが固い等の原因となりますので、化粧プレートのずれを正しく調整してください。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ハンドルをまわしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじのしめつけをゆるめたりして調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページ目をご覧ください。